

あ観自在

2019年1月1日
第2号

発行：須永晃仁

〒399-2433

飯田市立石140

TEL.090-6257-1472



秘仏 十一面観音

あけまして
おめでとうござい
ます

本年もよろしくお願
いいたします

昨年十月、県と市の教育委員会担
当者が、立石寺本尊(十二面観音・県宝)
の調査にきました。

文化財パトロールの二環で、防犯、防
火、防災、防虫などの確認。

普段は秘仏ですが、当日は、そのため
に開扉しました。写真をご覧ください
い。(上)

住職が行法する時や春秋のお祭りでは、秘仏前の御前立ち本尊・十二面さんを
開扉しています。同時代の作ですが、秘仏とは大きさもお姿も違います。
どちらも、長い歴史のなかで、大勢の祈りや願いごとをお聞きになってきたので
しょう。

ありがたい限りです。

ところで、ご本尊さんの前で、皆さんは何をしますか。

本来、仏像は拝む人と会話するためにおまつりしています。

お客さまを迎える時は、お茶や食事を用意するように、ご本尊さんへお供えを
して、近況報告や人生相談をします。

嬉しかったこと、つらいことなども話す。

それは自分の言葉でも良いですが、真言を唱えるのはもつと良い。真言は仏の
言葉ですから。

唱え、拜んでいるうちに、本尊とは何かを知るようになります。

そして、ご本尊さんは向こう側にいるのではなく、自分の中にいる、自分のご本
尊さんの性質を持っています。

ということになります。

今回の調査は事務的なものでしたが、その後、仏師の木村光秀さんと尊像の細
かいところを確認しました。

詳しいことはまた、ご報告します。

御前立ち本尊の 十一面観音

